

令和 6 年 第 7 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和 6 年 7 月 19 日（金） 午後 1 時 00 分
- 2 招集場所 大河原町役場 2 階 第 1 会議室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、片倉亜寿香委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
櫻田尚 教育総務課長、齋修 生涯学習課長、小野寺淳一 学校教育専門監、
大下敬司 学校教育係長
- 5 開 会 午後 1 時 00 分
- 6 令和 6 年第 6 回教育委員会定例会及び第 1 回教育委員会臨時会会議録の承認について
鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。
舟山委員、一盃森委員 署名。

7 教育長報告

（1）一般事務報告

報告第 5 号 令和 6 年第 2 回大河原町議会定例会（6 月会議）の結果について

教育総務課長、生涯学習課長より説明。

丹 羽 委 員	110 番非常通報装置とはどのようなものか？
櫻田教育総務課長	通常ですと、学校の教職員が電話にて 110 番通報されますが、非常通報装置が机の下や壁にあって、押すだけで警察本部に連絡がいくような仕組み。簡単に通報ができるようになる。
丹 羽 委 員	学校だと例えばどこに置くようになりますか？
櫻田教育総務課長	他の例ですと、職員室にスイッチがあって、不審者等の情報があるとすぐに対応しているという情報があります。県内の学校では、美里町のみ導入している。
一 盃 森 委 員	通学路の安全対策推進会議。一時期、大人のみだけでなく、子どもの目も大事な話しがあって、子どもの学習を通し、危険箇所を子どもの目でも考えていく必要がある。現状ではどのようになっているのか？
	GIGA スクール関連。情報リテラシーの教育が改めて必要であり、情報のモ

櫻田教育総務課長	ラルだとか情報のコントロールなど、再度、学校教育の中でもしっかり取り組んで行かなければならないと思う。
小野寺専門監	危険箇所の点検につきましては、町の方で「防災のつどい」を年1回、毎年実施している。その中で、子どもたちの集団登校する際に、危険箇所の点検も行っている状況である。
鈴木教育長	情報モラルリテラシー教育ですが、今年度、新たに情報教育の計画を町として各学校に提案している。小学1年生から中学3年生までを通して、タブレットの活用機能だけではなく、モラルの面も道徳の教材とかとリンクさせながら、モラル教育も小学生1年生から計画的に進めるよう、指導例を提案している。今のところは、強制ではなく、参考にさせていただいて、9年間を見通したうえで、取り組むようになる。
鈴木教育長	危険箇所につきましては、ゼンリンからソフトをいただき、地図に書き込めるような実践をしている。子どもたちは危険箇所が分かっている、みんなで情報の共有をしている。

報告第6号 工事請負契約の締結

（大河原町立金ヶ瀬小学校校舎・屋内運動場外壁ほか改修工事）について
教育総務課長より説明。

（2）専決事務報告

報告第3号 専決処分の報告について

（令和6年度大河原町一般会計補正予算（第2号））
教育総務課長、生涯学習課長より説明。

8 議 事

議案第30号 令和7年度使用教科用図書の採択調整案について

教育総務課長より説明。

丹羽委員	大河原の希望と違う結果となったことについてなぜか。
鈴木教育長	2市7町での希望集計の結果により変更となった。学習指導要領の改訂の間地点であり、継続した方が望ましい意見を述べた。
一盃森委員	変更になった教科は、担当の先生がよく話し合った結果だと思うが残念。
鈴木教育長	継続性を重視すべきだと思うが、集計が多かったものが決定したところである。
鈴木教育長	（委員全員に諮って）可決する。

議案第 31 号 令和 6 年度学校給食実施計画について

教育総務課長より説明。

舟 山 委 員	納豆は今後使用しないということですか？
櫻田教育総務課長	残食が多いため、そのような結果となったものでございます。
舟 山 委 員	納豆は完全栄養食品という捉え方をしている。子供たちも納豆が好きと思っていたが違うのですね。
丹 羽 委 員	納豆が好きな子もいると思うが、臭いや粘りなど気にする子がいるのではないかな。栄養的には最高だが残念である。
鈴木教育長	(委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告

1 『メンタル脳』(アンデシュ・ハンセン)

脳というのは、幸せがあるから進化したのではなく、不安を遠ざけるために進化してきたと言っている。他者にとっても意味のあることに夢中で打ち込めば、幸せを感じられる瞬間は訪れるはず。

2 『ブリーフセラピーの極意』(森俊夫)

私たちも子どもや保護者と接する時には、心理療法の手法が有効であるので紹介した。相手に合わせる。面談は明るく楽しくやる。未来を見つめられるようにするというのが根本にある。これを活かして生徒・保護者対応に当たっていただきたい。

3 各教科等における指導の充実・改善

(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を軸とした指導の充実・改善 (秋田喜代美)

(2) 国語科における指導の充実・改善 (大塚健太郎)

(3) 算数科における指導の充実・改善 (笠井健一)

特に、笠井先生の論説。分からない子に寄り添う。暖かな心が出ている。特に、終わりの言葉で、「算数が得意な子供たちの後ろにいるであろう、算数が苦手な子供たちに目を向けて、算数が得意な子供の力や協働的な学びの力を借りながら、算数が苦手な子供を苦手なままにしておかないようにすることが、一人一人の子供の将来を広げることにつながる」と考えるからである。」まさにこれだと思う。集団の力で、分かっている子は分からない子に教える。学び合いが大事。

4 主体的学びのリソースとしての教科書と授業（市川伸一）

私が校長時代に学習指導改善として、校内研究に市川先生が提唱された「教えて考えさせる授業（OKJ）」の導入をし、成果が出て学力が向上した。

大河原町教育委員会では、この7月『主体的な学びを実現する授業の在り方』の冊子を発行し町内の全教員に配付した。志教育につながる。ぜひ、授業の中で、この冊子の内容を子供たちに紹介していただきたい。

5 令和の日本型学校教育

（1）令和の学校をどう支えていくか（矢野和彦）

「カリキュラム・オーバーロード」問題については、3割の子供が授業が難しいと回答していることや、小学1、2年生の不登校が増えていることから、小学校低学年の授業時数をどうするかという議論があると述べている。

（2）運動会とコミュニティ・スクール（天笠茂）

学校運営協議会を上手に活用していくことが、安定した学校運営につながっていくはずである。

6 『「学び合う学び」が深まる時』（石井順治）

石井先生の論文。対話的学びをきちんとやれば、不登校もいじめも減るのではないかなと思う。子供同士の結びつきが深まってくるためである。

7 「学びの共同体」（埼玉新聞）

佐藤学先生の話が広まり、「県内外で「学びの共同体」を導入する学校、自治体が増加」という埼玉新聞の記事。

8 中学生の英語力

読売新聞に『中高英語力初の「50%」』との見出しで、文科省調査の結果が公表された。我が大河原町は44.8%で、宮城県平均を若干上回っている。

9 その他

各種事業、研修会、会議、授業の様子等について資料により説明。

丹羽委員 駅伝で最後まで走れなかった子はどのような状況だったか。フォローは。

鈴木教育長 医務室で泣いていた様子。顧問の先生が声をかけていた。

丹羽委員 あと、仲間が支えてくれると良いですね。

生徒が先生を支える話。生徒たちはとても良い経験になったと思う。すごい学びになったと思う。

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和6年度行事予定について説明。

丹 羽 委 員	昆虫展が素晴らしい。ぜひ、子供たちに参加してほしい。
舟 山 委 員	夏休み中のプールの開放日は？何日に設定しているのか。
鈴木教育長	各校で開放日は5回としている。周辺の自治体はゼロ回であり、大河原と白石市くらいである。安全確保が難しい。熱中症の危険等。ほとんどの自治体で止め始めている。
	開放できるのは、7月中くらいではないか。
丹 羽 委 員	ぜひ、110番非常通報装置は必要ではないか。
櫻田教育総務課長	町の方針では、まず、立場が弱い保育所などからが先となる。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和6年8月21日(水)午後1時から開催する。

11 閉会宣言 午後2時45分

令和6年8月19日

署名委員

署名委員